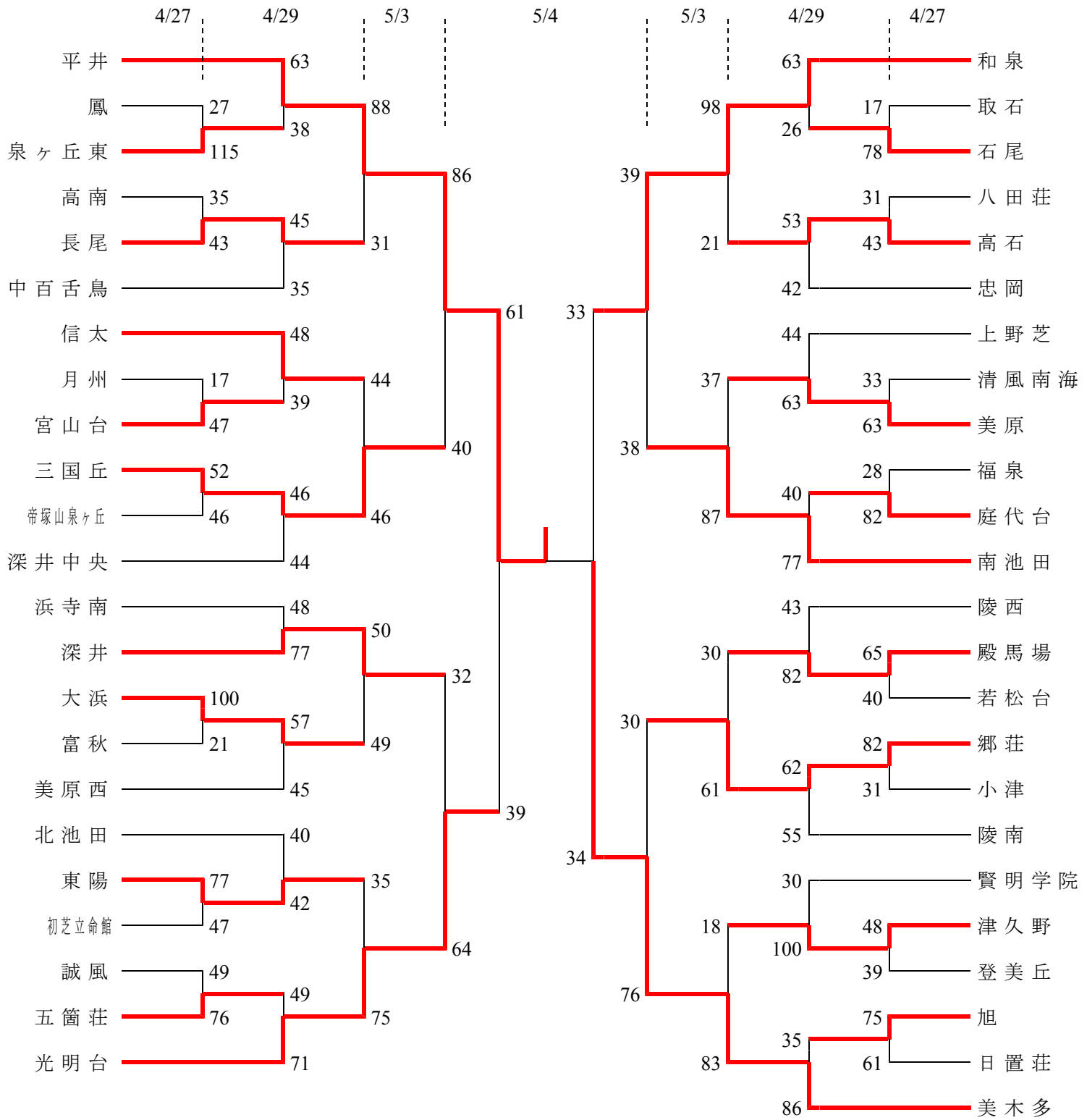


2013年度泉北地区春季大会

男子の部



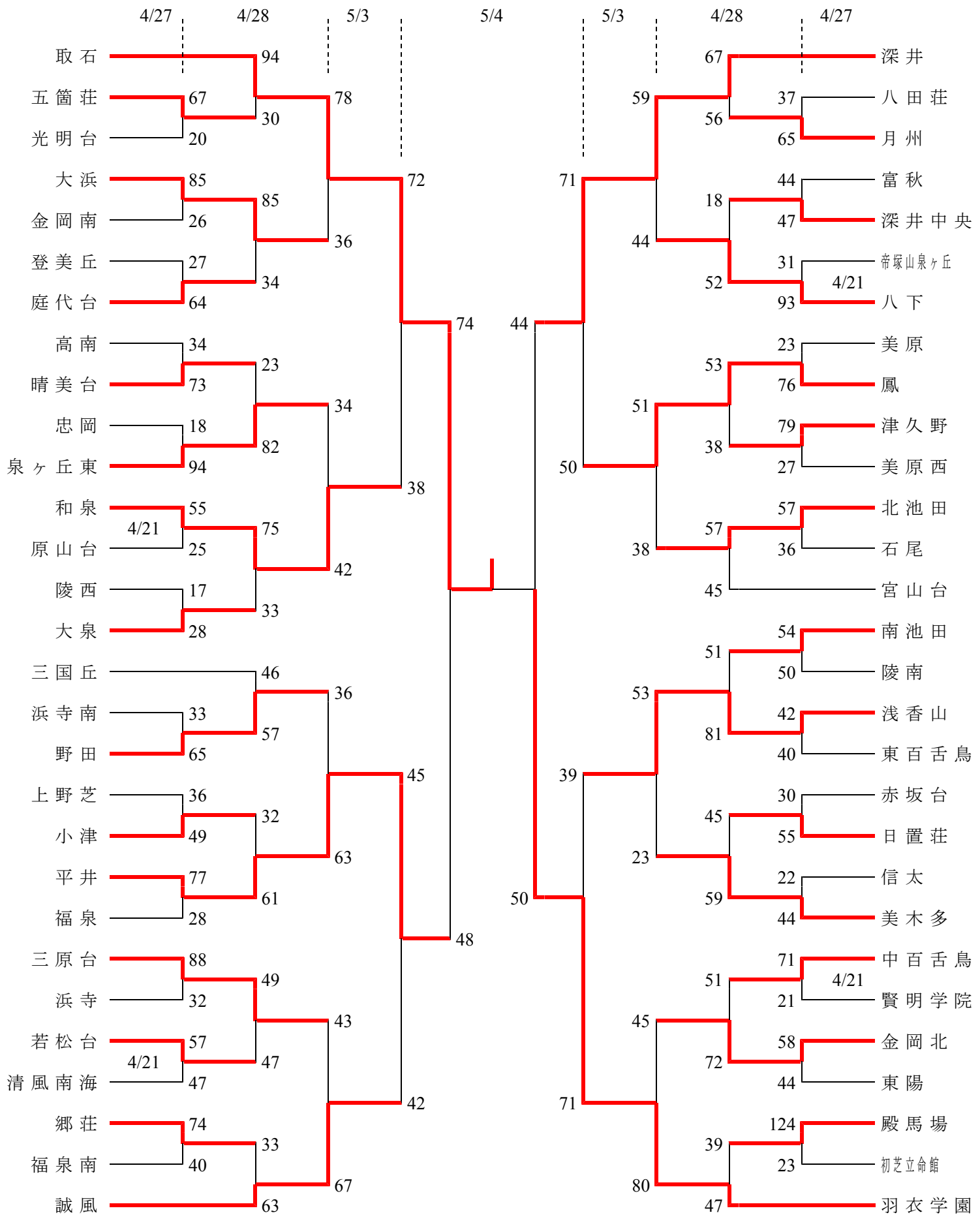
決勝

平井	5	6	-	3	4	美木多
	14	10		7		
	14	20		7		
	13	30		12		
	15	40		8		

3位決定戦

光明台	4	3	-	4	2	和泉
-----	---	---	---	---	---	----

女子の部



決勝
取石 5 2 - 4 2 羽衣学園

12 1Q 8
9 2Q 7
18 3Q 10
13 4Q 17

3位決定戦
平井 4 1 - 2 5 深井

男子決勝戦評

平井④⑤⑥⑦⑮、美木多④⑤⑥⑦⑧の両チームハーフコートマンツースタート。平井は5番のポストプレーを中心にして、美木多はボールを素早く展開し、ズレが起きたところで lonl を仕掛け、平井のファウルを誘発するがフリースローを決めることができず、14対7の平井リードで1Q終了。2Qは平井がファウルトランプで5番を欠くも、4番、7番を中心に積極的に lonl を仕掛け、アップテンポなバスケットで美木多を引き離しにかかると、美木多はハーフコートのオフenseでくらくらいつくとするが、じわりじわりと点差が開き、28対14の平井リードで前半が終了。美木多が5番のポストプレーで少し点差を縮めたところで平井は5番を再びコートへ戻す。その結果、平井のリバウンドが安定し、美木多の流れをゆずらない。4Qになっても流れは変わらず平井優勢でゲームが進む。美木多にオフenseのリズムをつくらせず、安定したリバウンドを支配した平井が泉北新人に続き、優勝を果たした。

(木村、岩橋)

女子決勝戦評

取石④⑤⑥⑦⑨、羽衣⑦⑪⑫⑰⑱でスタート。ティップオフから5番がレイアップに持っていく、取石が幸先のよいスタートを切る。対する羽衣は1-2-2のゾーンディフェクトかミスで取石にアウトサイドシュートを打たせ、リバウンドからの速攻でゴールヘアタックかからの速攻で点差をつけていく。タイムアウトで落ち着きを取り戻した羽衣はがんばりをみせ、12対8で1Qが終了した。2Qはお互いに決めてを欠き、21対15の6点差で終了。

ハーフタイム後、取石は10番の3ポイントをやりに高確率でシュートを決め、点差を一気に10点にまで広げられる。対する羽衣も18番の4番がゴール下で奮闘するも取石のプレッシャーでミスが目立つ。残り14点差に広げられ、39対25で3Qが終了した。4Qに入り、4番は速攻も取石が抑えてきた。取石は残り10分、攻守両面に積極的な取り返しの動きを見せ、7点差まで追いついていく。取石は残り5分、攻守両面に積極的な取り返しの動きを見せ、7点差まで追いついていく。取石は残り5分、攻守両面に積極的な取り返しの動きを見せ、7点差まで追いついていく。

(福渡)